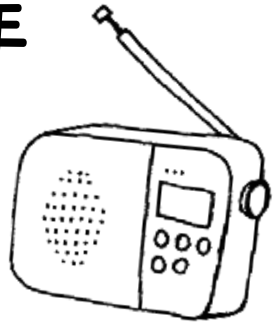
ラジオ放送100周年



日本でラジオ放送が始まったのは1925（大正14）年３月22日、芝浦の東京高等工芸学校の建物の一部を借りての発信でした。
葉書職人など特有の文化を生み出し、災害放送では今もなお大きな役割を果たすラジオ。その一方で、戦時下では国民を戦争に動員するために、戦後には占領政策の手段として、密に関わってきた一面もあります。そんなラジオの歴史と魅力を色んな角度から知ることができる本を紹介します。

『アフタートーク』
石井玄／著、KADOKAWA、2021.9

オールナイトニッポン元チーフディレクターが10年間を綴ったエッセイ。ラジオが未来永劫続いて、まだ見ぬ未来のリスナーを救って欲しい―かつてラジオに救われた少年の熱い思いが詰まっています。

『ラジオじゃないと届かない』
宮嵜守史／著、ポプラ社、2023.3

TBSラジオ「JUNK」統括プロデューサーが語るラジオ独自の魅力。バナナマン、アルコ＆ピース、パンサー向井など、パーソナリティとの対談も多数収録。

『交通情報の女たち』
室井昌也／著、論創社、2014.11

ラジオの定番「交通情報」の裏側に迫る一冊。交通情報を伝える彼女たちは、放送局のアナウンサーでも警視庁の職員でもないのです！

『ラジオの時代－ラジオは茶の間の主役だった－』
竹山昭子／著、世界思想社、2002.7

音の保存が難しいという点で印刷メディアと比べて検証するのが困難なラジオの歴史を、諸史料から丹念に読み解く一冊。

『阪神大震災の被災者にラジオ放送は何ができたか－「被災していない人への情報はいらない!」と言い続けた報道者たち－』
毎日放送／著、今井一／監修、同朋舎出版、1995.6

阪神・淡路大震災発生から最初の一週間の放送を全て活字化。言い間違えもそのまま記録され臨場感が伝わります。

他にも……

『ラジオのお仕事－Do you know how to work?－』
室井昌也／著、勉誠出版、2015.10
『ラジオと戦争－放送人たちの「報国」－』
大森淳郎／著、NHK放送文化研究所／著、NHK出版、2023.6
『大災害とラジオ－共感放送の可能性－』
大牟田智佐子／著、ナカニシヤ出版　2024.1
『ラジオ体操の誕生』
黒田勇／著、青弓社、1999.11

第24回

書名でしりとり

書名の最後の一字で次の本へつなげていく企画、第24回の文字は前回の書名から「ウ」です。

『美しき宝塚の世界
－歌劇とレビューで読み解く－』
（石坂安希著／立東舎／2022.2）

宝塚歌劇団と聞けば、豪華に煌めくあの世界を誰もが思い浮かべるのではないでしょうか。自身も宝塚のファンである著者が用語の解説なども交えつつ、歴史や専用劇場、演出といった基本的なことから、ちょっとディープな魅力まで、初心者にもわかりやすく論理的に解説している一冊です。巻末の付録では名作も複数紹介し、読者を宝塚の世界へ案内します。

ちらっと

Chiratto
Vol.53

2025年6月-2025年7月号

特集1　ラジオ放送100周年
特集2　普通選挙法成立100年
連載　書名でしりとり
お知らせ　西東京市図書館からのお知らせ
FM西東京で紹介した本

第五十三号ちらっと　特集2

普通選挙百年

投票人となるために必要だった納税要件を廃した普通選挙法が公布されてからちょうど百年。今年はこれから夏にかけて東京都議会選挙・参議院議員選挙の投票・開票が行われます。

図書館の近くにも投票所が開設されます。投票帰りに、選挙の本はいかがですか？

1

投票は今は18歳から、普選は25歳になってから。

『教えて南部先生!18歳までに知っておきたい選挙・国民投票Q&A』
南部義典／著　シーアンドアール研究所　2023.2
ISBN:978-4-86354-406-2

普通選挙から現行の公職選挙法に至るまで選挙制度は変化してきましたが、近年も改正が続いています。まずはこの一冊から、いつもの投票について再確認を行ってみませんか？

2

いっそのこと、くじ引きが良くない？

『くじ引きしませんか？』
瀧川裕英／編著　古田徹也／[著]　岡崎晴輝／[著]　坂井豊貴／[著]　飯田高／[著]
信山社　2022.5　ISBN:978-4-7972-8159-0

そうはいっても選挙ってガラガラポンでしょ、と思っているそこのあなた。この本ではくじ引きの公平性や、選挙制を補完するシステムとしての魅力を論じた論考を集めています。

3

選挙法制の日進月歩

『日本選挙制度史』
杣正夫／著　九州大学出版会　1986.4

大日本帝国憲法下においては細則を法にゆだねられた選挙規定は、公職選挙法へ変わる以前にも普通選挙の実現の他にも諸般の修正が加えられていました。今日の公職選挙法まで続く選挙制度の変遷をつぶさに扱った一冊です。

4

普通選挙法では参政権はありませんでしたが……

『ジェンダーで読む日本政治』
山崎まゆみ／著　有斐閣　2004.10
ISBN:4-641-28095-9

普通選挙によって有権者数は一気に増加したものの、女性の参政権は戦後。公職選挙法の施行まで認められていませんでした。参政権が認められない中での女性運動や戦中・占領期の施策について取扱った一冊。

5

連戦連敗、それでも選挙に出る

『黙殺』畠山理仁／著　集英社
単行本　2017.11　ISBN:978-4-08-781651-8
文庫本　2019.11　ISBN:978-4-08-744049-2

主要政党以外から出馬し、議席争いにまじらないまま落選していく泡沫候補。テレビの選挙速報からは見えづらいかれらを無頼系独立候補としてとらえ、選挙活動に密着したルポタージュです。

お知らせ

【展示】男女共同参画週間
期間：令和7年6月3日（火）～6月29日（日）
市内全館にて実施

6月23日（月）から29日（日）までは「男女共同参画週間」です。それに合わせ、男女共同参画や「LGBT」に関する資料を展示します。今回のテーマは「誰もがどれも選べる社会に」です。性別等にかかわらず多様性を尊重する社会について、この機会に考えてみませんか？

FM西東京で紹介した本

『子供の科學1924-1945完全読本』
小飼弾／誠文堂新光社／2024.9

昭和と前後して創刊、すでに100年を超えた『子供の科学』。その最初の21年の見どころを一冊にまとめました。創刊当初は関東大震災からの復興と重なり、都市計画の特集が多いようです。その後は20世紀の電気エネルギーや月世界旅行など、未来への憧れを感じる紙面から、やがて戦争の影が。記事の内容は意外にハードで、今の大人にも読みごたえがありそう。時代を記録した科学ドキュメンタリーです。

『くらべてわかる岩石』
西本昌司・中村英史／山と溪谷社／2023.8

川原や海岸で拾える岩石30種について、色や模様のバリエーション、類似種との違いなどを紹介しています。各岩石の共通点や特徴が一目でわかるように、拡大写真の他、なんと水に濡れた状態の写真も掲載しています。すてきな石を見つけたときは、本書の検索表を使って、名前を調べてみましょう。岩石の奥深さに気付くはずです。
「くらべてわかる図鑑」シリーズは他にも、きのこや昆虫など身近でおもしろいテーマがたくさん。ぜひ手に取ってご覧ください。

発行：西東京市図書館
https://www.library.city.nishitokyo.lg.jp